

平成27年度 公益財団法人人材育成ゆふいん財団・公益目的事業等 実施概要書

<基本理念及び平成27年度目標>

基本理念 0歳から100歳まで・・・子どもたちの未来を育む、やすらぎのまちづくり

- 人材育成ゆふいん財団は、未来へ向けていつまでも平和で豊かな社会であり続けるために、お互いの暮らしや地域の関わりあいを深めていくことが大切であると考え、そのような社会の実現に向けて「人」を育む環境を整えていくという役割を担うものです。
- 設立以降、この基本理念のもと事業を推進してきました。平成27年度事業においても、設立当時の想いも大切にしながら、継続して取り組んでいきます。

平成27年度目標

由布市と連携を図りながら、事業運営・経営を充実させていく

- 人材育成ゆふいん財団は、主として湯布院地域で人材育成に関する調査研究を行っている公益法人です。ゆふいん（湯布院地域や湯布院に関わる人づくり、まちづくり）で培った調査研究の経験と実績を活用し、大きくは次の2つの公益目的事業を実施していきます。

1) 公益目的事業1：市民の0歳から100歳までの学びを奨励、援助する事業

- 国内外やゆふいんにおいて市民が自ら学び、自ら実践していくための多様な自主的学習や人材育成の機会を提供することで、0歳から100歳までの学びを奨励、援助していく事業

公益目的事業1	実施状況	事業における収支 (円)
①国際交流事業 ゆふいんの子ども達を、韓国や中国など、文化や言葉の違う国に使節団として派遣し、現地で国際交流を行っていきます。	(1)「第13回 ゆふいん～アジアふれあい交流子ども使節団」・相互交流：往路韓国水原市訪問 【第1次募集・湯布院地域】 5月15日～5月25日 第1次募集を開始（湯布院地域の子どもの達を対象）。 5月31日と6月6日 面接試験を実施 6月10日 合格者を確定 【第2次募集・由布市】。 5月19日 由布市長訪問。水原市青少年育成財団との相互交流について協議。由布市から水原市へ渡航する子どもたちを選抜することを確認。 6月11日～6月23日 広報開始。由布市各家庭へ広報紙を配布。韓国・医療機関 MERS の病院内感染が拡大。状況についての問い合わせが増加。 6月23日 第2次募集の応募者に連絡。 【MERS 感染拡大への対応】 6月20日～6月25日 7月28日（火）～31日（金）の韓国・水原市への渡航について協議。今後の予定、対応について協議。 6月26日（金） 臨時理事会において7月の韓国・水原市への渡航中止を決定した。	1,566,779 内事業費：1,030,493 内人件費：536,286 (収入：12,000)

また、平成28年1月に予定していた湯布院滞在中も休止することに決定した。来年度からしっかり由布市として交流ができるように、今年は1年間かけて準備をすることに決定。その旨を公文書にて送付。

(2) 水原市青少年育成財団の由布市訪問

相互交流：復路由布市訪問

一旦は、平成28年1月に予定していた湯布院滞在中も休止することで公文書を送ったが、水原市青少年育成財団から湯布院を訪問し、交流をしたいという旨の公文書が送られてきた。

9月25日(金)の第3回理事会において、相互交流を実施することを決定。昨年度の由布市訪問に引き続き、お互いの往来の復路として交流プログラムを実施した。交流を通して由布市や湯布院地域を知り、お互いの継続的な国際相互交流、親善につなげていくことを目的に、水原市青少年育成財団が由布市を訪問した。

<水原市青少年育成財団・交流団>

12月上旬 公募

下旬 12名を選抜

中学生6人(男2人、女4人)、高校生6人(男2人、女4人)、引率者3名(男2人、女1人)

<水原市青少年育成財団・交流団訪問旅程>

●1月28日(木)

「水原から由布市へ ～再会・歓迎の日～」

・歓迎会(ゆふいん山水館・麦酒館)

・志美津旅館泊

●1月29日(金)

「由布市のまちづくり・大分の文化芸術について学び・交流する1日」

・まちづくり講演会「ゆふいんのまちづくりと自然環境について」

・湯布院中学校見学「一緒に給食を食べよう!!」・昼食

・大分県立美術館を見学

・iichiko 総合文化センター 源流太鼓 公演

・ゆふの丘プラザ泊

●1月30日(土)

「大分県を由布市の子どもたちと一緒に訪れ、遊び、学ぶ1日」

・ゆふいん周辺散策などで交流・自由行動

・城島遊園地・昼食

・各グループ解散・ホームステイ先へ移動

●1月31日(日)

「由布市から水原へ ～お別れの日、また会う日まで～」

・郷土料理を一緒につくろう

<p>②ふれあい学習事業</p> <p>様々なテーマ・分野で活動する団体やグループ、個人と連携をしながら、0歳から100歳までの学習、人材育成の機会を提供していきます。</p>	<p>(1)「大分川河川環境学習会」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 大分川を舞台にして、川に触れ、川遊びをしながら、川に親しむことを目的に、大分川河川環境学習会を行いました。 <p style="text-align: center;">＜実施日程＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ■7月21日(火)第1回大分川河川学習会検討会議 ■8月17日(月)第2回大分川河川学習会検討会議 ■10月5日(月)第3回大分川河川学習会検討会議 ■10月12日(月)第4回大分川河川学習会検討会議 ■8月23日(日)大分川学習会・第1弾 「大分川の上流部の男池に行こう！」 男池に行き、周辺を散策し、わき水を見て、豊かな水と自然環境を体感 ■10月12日(月)大分川学習会・第2弾 「大分川の上流部の白滝川・金鱗湖に行こう！」 白滝川・大分川に行き外来生物や在来生物について学び、体験 	<p>298,435</p> <p>内事業費：84,962 内人件費：213,473 (収入：35,544)</p>
<p>③人材育成活性化のための調査・研究事業</p> <p>「人材育成」「環境問題」「教育問題」等の各種講演や啓発・普及活動、人材育成活性化の調査・研究を行っていきます。</p>	<p style="text-align: center;">＜木育 mokmok がっこう給食器＞</p> <p>緊急雇用大分県産材木製給食器普及事業に引き続き、緊急雇用処遇改善事業を実施。処遇改善のための取り組みとして「おおいたの木製学校給食器」の販路拡大に取り組んだ。</p> <p>「手づくり」という生産体制を配慮した販売促進、成長管理のあり方をテーマとして、販路拡大のためのコンサルティングによる指導を受けた。県内での展示会や情報発信・広報活動を重点的に取り組むことになった。その中で顧客を増やしつつ、商品に対する信頼性や評価を得ながら販路の拡大を図ることを基本方針とした。</p> <p>退職者が3名出て苦戦を強いられた。しかし、現状の体制や生産・在庫状況に合わせた的確な販路拡大のコンサルティングを受けた。結果的に、従業員2人(7月以降は1人)の体制でも売上げを伸ばし、一人当りの売上をベースにすると前年度比の2倍以上を達成することができた。その成果を受けて、ベースアップ17%を予定通り行うことができた。</p> <p style="text-align: center;">＜豊かな水環境創出ゆふいん会議＞</p> <p>昨年度、設立された豊かな水環境創出ゆふいん会議の運営を由布市環境課、大分県環境保全課の支援を受けながら活動を継続した。</p> <p>また、大分県・地域を担うNPO協働モデル創出事業「大分川・宮川の水環境を豊かにし、育てていく事業」を着手。大分川や支流の水環境や川づくりに関して、市民と議論を重ね、様々な活動を共にしながら、大分川の活用や保全、将来像について検討した。</p>	<p>8,478,772</p> <p>内事業費：7,303,603 内人件費：2,537,488 (収入：6,168,737) (棚卸：1,362,319)</p>

<主な活動>

5～7月 九州大学教員を招聘し今後の活動のあり方について検討

8月30日(日) 大分川源流リバーウォーク大会(参加者:約150名)

10月14日(水) NPO 協働モデル創出事業への提案へ向けた検討

10月29日(木) 宮川における藻の現地調査・説明会

2月22日(月) 23日(火) 四万十川財団 交流会

3月5日(土) 大分川水環境フォーラム

3月5日(土)、6日(日) 宮川水質調査(九州大 富山先生)

【「大分川・宮川の水環境を豊かにし、育てていく事業」】

①環境 ②景観

ACT1 水位低下のための流路変更の検討作業

ACT2 宮川での外来種・藻の除去作業

ACT3 河川環境づくり・土手作り作業

平成28年3月10日(木)～16日(水)に、由布市湯布院町の大分川の支流・宮川で大量に繁殖している国外外来種の植物を除去しました。国外外来種であるオオセキショウモなど約2トンを5日間で延べ約100人の手によって除去しました。宮川の水位を低下させる流路変更を行い、藻を除去し、川土手の整備を行った。

③ヒト

1) 関係団体等への事業説明会

①地元自治会等(平成28年2月18日(水))

②九大決断科学センター・九大流域システム工学研究室

(平成28年2月19日(月)、14日(月))

③豊かな水環境創出ゆふいん会議の所属団体

(1) 由布院温泉観光協会

(平成28年3月10日(木))

2) 大分川・宮川の水環境を豊かにし、育てていく事業実行委員会

(平成28年2月29日(月))

3) 各種検討会議

DIS1 平成27年度第1回 宮川環境再生協議会

(平成28年2月29日(月))

DIS3 平成27年度第1回 大分川・宮川を考えるワークショップ

(平成28年3月28日(月))

豊かな水環境創出ゆふいん会議をはじめ、農業者、観光、金融など各分野から24名が参加し、林博徳氏(九州大学・助教授)から「多自然川づくり」についてご紹介いただいた。その後、3グループに分かれて「今後、大分川でやってみたいこと」について意見交換をしました。

2) 公益目的事業2：市民の実践活動の促進を援助する事業

- 市民が実践する公益的活動に資する人的支援や情報・ネットワーク支援を図り、さらにそれらの支援を受けながら名誉ある功績を残した活動に対して助成・顕彰を行い、市民実践活動のさらなる促進や継続的な側面的援助を行う事業

公益目的事業2	実施状況	事業における収支 (円)
①市民実践活動への人的支援事業 市民が実践する公益的活動の企画・運営についての相談やアドバイスを行い、適材適所となるボランティアの紹介をしていきます。	■塚原公民館の放課後事業を月2回、サポートを行った。	178,212 内事業費：25,483 内人件費：152,729 (収入：29,520)
②市民実践活動への情報・ネットワーク支援事業 情報誌「人材育成ゆふいん財団ニュース」の発行やホームページを活用し、公益的活動の情報発信とコミュニティーのネットワークを構築していきます。	「人材育成ゆふいん財団ニュース」の発行 ・ 年1回発行 (Vol.83) ・ 発行部数4,000部 (1回につき) ・ 町内全戸配布 (自治分配) 「ホームページによる情報発信」	106,861 内事業費：46,117 内人件費：60,744 (収入：0)
③市民実践活動への助成・顕彰事業 自主的な公益的活動を企画、または事業を運営する個人・グループ・団体に対して、助成・顕彰を行っていきます。	・ 市民実践活動への助成事業において、今年度の申請を行ったNPOゆふいんチャレンジクラブの「スポーツでゆふいんのまちづくり・健康づくり・ひとづくり」へ助成を行った。	345,113 内事業費：306,931 内人件費：38,182 (収入：0)